

MACF礼拝説教要旨

2023年12月17日

「イエス様のお名前」

マタイによる福音書1章

18イエス・キリストの誕生の次第は次のようであった。母マリアはヨセフと婚約していたが、二人が一緒になる前に、聖霊によって身ごもっていることが明らかになった。

19夫ヨセフは正しい人であったので、マリアのことを表ざたにするのを望まず、ひそかに縁を切ろうと決心した。

20このように考えていると、主の天使が夢に現れて言った。「ダビデの子ヨセフ、恐れず妻マリアを迎え入れなさい。マリアの胎の子は聖霊によって宿ったのである。

21マリアは男の子を産む。その子をイエスと名付けなさい。この子は自分の民を罪から救うからである。」

22このすべてのことが起こったのは、主が預言者を通して言われていたことが実現するためであった。

23「見よ、おとめが身ごもって男の子を産む。その名はインマヌエルと呼ばれる。」

この名は、「神は我々と共におられる」という意味である。

イエス様のお名前に関するふたつの説明がなされています。ひとつは「イエス」もうひとつは「インマヌエル」です。

どちらも親があれこれ考えてつけた名前ではなく、神様がマリアから生まれる赤ちゃんのために用意した名前です。

聖書では名前はとても重要な意味を持っています。特に旧約聖書では、それはその名前がその人の生き方や使命を表していることが多いのです。

イザヤは「神は救い」エゼキエルは「神が強くなる」エレミヤは「ヤハウエが確立する。ヤハウエが任命する」エリシャは「神は私の救い」などなど。

そしてイエス（ヨシュア）は「神は救い」「神は救ってくださる」という意味があります。

つまり、それは名付け親の神様がこのイエス様に託した名前であり使命でもありました。イエ

ス様を知ることができたら「神様が我々を見捨てず見放さず、救い出してくださるのだ」ということがわかるのです。

イエス様は、まさに「神はあなたを救うお方です」ということを示すために遣わされたのです。

そして、もう一つの名は「インマヌエル」

これは「神は私たちと共におられる」という意味ですが、イエス様を信頼してあゆむとき、神様が共にいてくださるということがわかるのです。

作家、遠藤周作の言葉を借りれば「この方こそ永遠の同伴者」なのです。

最近、伴走型支援という言葉はずいぶん一般的に使われるようになってきました。

解決型支援と伴走型支援という分け方がなされているようです。

イエス様は「神様が解決の道を示してくださる」ということを明らかにしたばかりでなく、「神様があなたの永遠的な伴走者として共に歩んでくださる」ということを身をもってお示しになりました。

マタイによる福音書28章の最後に書かれているイエス様の言葉は

「18イエスは、近寄って来て言われた。「わたしは天と地の一切の権能を授かっている。

19だから、あなたがたは行って、すべての民をわたしの弟子にしなさい。彼らに父と子と聖霊の名によって洗礼を授け、

20あなたがたに命じておいたことをすべて守るように教えなさい。

わたしは世の終わりまで、いつもあなたがたと共にいる。」

イエス様こそ最高の権限を持っておられる救い主」であり、「共におられる救い主」であることが語られているのです。

そういう救い主がこの地上に人としてお生まれになったのです。

だから歓迎し、礼拝するのです。

それこそがクリスマスです。

**

MACF礼拝映像はこちらです。
https://youtu.be/_GGBWLz6rmw

* 来週12月24日で今年のOCCでの礼拝は終わり
です。新年は1月7日からOCCでの礼拝が始まり
ます。